

全国漁業信用基金協会宮崎支所

理事 日高 光明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、日ごろから温かいご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨年は、新年早々発生した新型コロナウイルス感染症により仕事面においても生活面においてもそのルールが一変した一年でありました。いまだ収束の兆しが見えないなか海外では各種ワクチンが認可され接種が始まるなど少しずつですが新たな世界が広がりつつあるのではないかと思います。

水産業界へ目を転じてみますと、世界レベルでは成長産業として脚光を浴びている水産業も国内では生産量・就業者とも右肩下がりに歯止めが効かず、高齢化はますます進行している状況です。こうしたなか、魚を増やし、漁業を成長産業にすることを目指し70年ぶりに改正された漁業法が令和2年12月1日施行されました。これは、日本の漁業をかつてのような活気ある魅力的な産業に戻し、多くの若者が夢を語る職業に戻すためのカンフル剤となるべきもので、新型コロナウイルスに対するワクチン・治療薬と同様、水産業の復活のための治療薬として今後の効果に期待したいところです。

これらかつての活気を取り戻す作業は始まったばかりであり、浜ではまだまだ水揚げ不振・魚価安・就業者の減少といった漁業の行く末を案じる声が多く聞かれるのも確かです。我々保証機関としては、それら多くの漁業者の声に真摯に対応することはもちろんのこととし、漁業の成長産業化を支援できるよう、系統唯一の保証機関として将来の浜を担う漁業経営体を金融の側面から支援を行っていく所存でありますので、会員の皆様をはじめ関係団体の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年になりますように、心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

